

人と魚と海のネットワーク
香川県漁連ホームページ
<http://www.jf-net.ne.jp/kagyoren/>



JF 高松市北浜町8-25
TEL 087-825-0350
FAX 087-851-0699
JF香川漁連

第8回香川県産乾海苔品評会開催

さぬき海の幸販売促進協議会(香川県漁業協同組合連合会、(一社)香川県水産振興協会、香川県)、香川県海苔養殖研究会が主催する第8回香川県産乾海苔品評会が2月18日(土)に漁連会館6階大会議室にて開催されました。

この品評会は香川県下で生産された乾海苔の色、香り、つや等を審査品評し、香川県産ノリのPRとノリ養殖生産者の生産意欲や養殖技術の向上を図ることを目的として開催されたもので、県下の生産者から、平成28年12月下旬から29年1月中旬に生産された中から89点が出品されました。一次審査は、1月29日にノリ検査員によって審査され40点を選定。二次審査は、香川県海苔養殖研究会の西口会長をはじめとする19名の審査員にて、一次審査を通過した40点から審査しました。審査員たちはノリを手に取り色つやを確認する、焼きノリにして味見をするなどして味や香りを吟味していました。最優秀賞である香川県知事賞は高松市瀬戸内漁協の中西 廣さんが2年連続で選ばれました。

各賞は下記表の通り

賞	賞の名称	漁協名	生産者名
最優秀賞	香川県知事賞	高松市瀬戸内漁協	中西 廣
優秀賞	香川県議会議長賞	香西漁協	(株)明石マリノコーポレーション
	香川県農政水産部長賞	香西漁協	津嶋和博
	香川県漁業協同組合連合会長賞	下笠居漁協	萬吉水産(有)
	香川県信用漁業協同組合連合会長賞	下笠居漁協	谷沢隆一
	(一社)香川県水産振興協会会長賞	与島漁協	角野満晴
	香川県海苔養殖研究会会長賞	東讃漁協	田中 充
	さぬき海の幸販売促進協議会会長賞	高松市瀬戸内漁協	(株)糸谷水産
高松市ブロック	高松市長賞	高松市瀬戸内漁協	濱谷隆昭
	高松市議会議長賞	香西漁協	寛江水産(株)
	高松市漁業協同組合連絡協議会会長賞	高松市瀬戸内漁協	坂口光次
	香川県海苔養殖研究会奨励賞	庵治漁協	竹本 剛
東かがわ市ブロック	東かがわ市長賞	東讃漁協	楠田照彦
	東かがわ市議会議長賞	東讃漁協	楠田照行
	香川県海苔養殖研究会奨励賞	引田漁協	三和水産(有)
さぬき市ブロック	さぬき市長賞	津田町漁協	宇山一美
	さぬき市議会議長賞	津田町漁協	新開祥希
	香川県海苔養殖研究会奨励賞	鴨庄漁協	白井勝美
直島町ブロック	直島町長賞	直島漁協	西岡 正
	直島町議会議長賞	直島漁協	(有)竹林水産
	香川県海苔養殖研究会奨励賞	直島漁協	(有)栄鶴水産
土庄町ブロック	土庄町長賞	北浦漁協	田中芳実
	土庄町議会議長賞	北浦漁協	石井幸一
	香川県海苔養殖研究会奨励賞	土庄中央漁協	小濱孝行
小豆島町ブロック	小豆島町長賞	内海漁協	(株)竹田水産
	小豆島町議会議長賞	池田漁協	柴田伊佐生
	香川県海苔養殖研究会奨励賞	内海漁協	濱田将寛
坂出市ブロック	坂出市長賞	与島漁協	長谷川純也
丸亀市ブロック	丸亀市長賞	丸亀市漁協	祖一信明

第42回全国海水養殖 シンポジウム

2月7日(火)、サンポートホール高松にて(一社)全国海水養魚協会が主催する第42回全国海水養殖シンポジウムが開催されました。



この大会は「かがやく海 若者に夢を! 頑張れ日本の養殖業!」をテーマに、厳しい経営環境にある魚類養殖業について意見を交わし、今後の経営や品質向上に役立つ為、全国から魚類養殖業者約400名が集まりました。

鳴野全海水会長の挨拶に続き、来賓を代表して伊佐水産庁課長が佐藤水産庁長官の祝辞を代読、続いて浜田香川県知事と大西高松市長が、最後に本会服部会長が挨拶を行いました。

講演会では鹿児島大学水産学部教授 佐野雅昭氏によって、「水産物小売の現代的状況と養殖魚販売の課題～スーパー全国調査から見えてきたもの～」というテーマのもと、量販店の水産売場の課題を提示したうえで、水産物流通における地域密着型の食品量販店への期待を述べました。そして全国の漁業が総体となって魚食文化を発信していくことを提案しました。



佐野氏の講演

続いて香川県魚市場株式会社代表取締役会長 山本啓一氏は「これからの養殖魚の流通と未来の養殖業について」というテーマで、香川県におけるハマチ養殖業の発展と市場流通との関わりを、50年に渡り養殖ハマチの流通に携わった自身の体験を交えて語りました。

講演後の養殖魚需給検討会や代表者会議等の報告では、出席者と質疑応答や意見交換が行われました。

また、会場外では地元大学生を対象とした料理講習会や、ブランド養殖魚を景品としたビンゴゲーム等のイベントが開催され、大会を盛り上げました。

第43回大会は大分県で開催されます。

第7回白方かき祭り開催

2月4日(土)、第7回目となる白方かき祭りが白方漁協にて開催されました。

このイベントはカキ養殖業者の活力を生み出すとともに、広く地域内外の消費者に向けて効果的なPRを図り、県内初のブランドである白方かきのさらなる発展を応援することを目的に設けられました。

場内ではカキ料理や生カキの販売のほか、農業経営高校生による拓心太鼓の演舞や、人工漁礁パネル展示等のイベントも行われました。来場者は新鮮な生カキやカキフライなどを求め、10時の販売開始前から長蛇の列を作っていました。市価より2、3割安い加熱用のむき身、殻つきカキ等も飛ぶように売れ、飲食コーナーでは来場者が焼きカキの熱々の美味しさを楽しんでいました。

白方漁協田中組合長は「今年のカキは平年並みに採れ、ブランドとして恥ずかしくない出来。香川県は一人あたりのカキの消費量が全国二位だが、一位を目指して頑張っていきたい。」と話されていました。



田中組合長の挨拶